

ESD-J 会員のみなさま、

5 月末にカナダのプリティッシュ・コロンビア州 Donnie Creek で発生した山火事は、2,400Km 以上を焼失し、同州の史上最大規模になりました。その煙は米国東部に達し、6 月 7 日には信じられないほど濃密な煙がニューヨークに達し、ニューヨークの大気は視程がなくなるほど劇的に悪化しました。正確に計測したデータを見ての意見ではありませんが、これは 1990 年代に大きな社会問題になった

インドネシアの山火事による煙霧と同様に深刻な越境大気汚染のように思われます。

国連のグテーレス事務総長は、この状況に対し、ツイッターで「カナダの山火事の煙が軟化したことにより、ニューヨークの国連本部では恐るべき大気汚染が起こっている。世界の気温上昇に伴う山火事のリスクを緊急に減らすことが喫茶金の課題になっている。私たちは自然と平和に付き合わなければならない。ギブアップするわけにはいかない。」と述べています。